

なのhana



岡崎市立六ツ美中部小学校
校長室だより No.2
令和3年5月11日(火)

新年度がスタートして1か月あまり。ゴールデンウィークもおわり、授業や部活動など、本格的になってきました。しかし、新型コロナウイルスの猛威はとどまるところを知らず、またしても緊急事態宣言が出てしまいそうです。本校5・6年生は12日(水)にデイキャンプ(山の学習)を予定していましたが、宣言を受けて秋に延期する予定です。さまざまな制約がありますが、できることを精一杯やり、子供たちが楽しい学校生活を送れるようにしていきたいと思えます。

るるの会

4月28日(水)、今年度第1回目の「るるの会」(読み聞かせ)が行われました。お忙しい中、保護者や地域の方々が各教室で子供たちに本を読んでくださいました。小学校における読み聞かせの継続は、子供の読書率を向上させるとともに、学力向上にも一定の効果を示すと文部科学省の研究調査で報告されています。年間、10回程程度の回数ですが、こういったことを機に本をますます好きになってほしいと願っています。



児童会委員会活動の大切さ

5月10日(月)、委員会活動がありました。本校は、4年生以上が、代表委員会と環境・美化・保健・図書・放送・給食・体育の7つの専門委員会の計8つの委員会に分かれ、それぞれの活動を行います。この日、体育委員は運動場の草取りや石拾い(右写真)を熱心にやっていました。学校のために、仲間のために自分は何ができるのかを考え、実行していくことはとても大切なことです。今後も自主的な活動をどんどんしてほしいと思えます。



脚下照顧を心がける

「脚下照顧」。「きゃっかしょうこ」と読みます。「脚下」は足元、「照顧」は振り返って見ることで、「はきものをぬぐとき、足元をよく見なさい、はきものを整とんしなさい」という意味です。また、「自分自身を見つめ直しなさい」という教えにも使われます。はきものをぬいだときは、そっと手を添えてきれいにそろえること。ほんの数秒でできることなので、さりげなく、あたり前にできるといいです。



〈さすが!6年生はきちんとそろっています〉